

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 26 日 作成  
 21年度決算把握後 平成 22 年 5 月 20 日 作成

事務事業名		母子生活支援施設入所措置事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト 関連 <input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	健康福祉部	課長名	青木洋治
	施策	21	人権が尊重される社会づくり			所属課	子育て支援課	担当者名	榮 峰男
	基本事業	73	人権相談体制の充実			所属班	子ども保育班	(内線)	2154
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	児童福祉法 合志市母子生活支援施設及び助産施設の	成果優先度評価結果	10
	1	3	2	1	10897			コスト削減優先度評価結果	3
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 17 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)					

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細、期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	母子家庭等における児童の福祉欠如やDV等により保護者及び児童を支援施設へ保護する平成18年の合併による福祉事務所設置に伴ない県から移管された事業である。以前は母子家庭の経済的な支援策として設置されていた施設だが、現在は主にDVから逃れ母子の安全を確保するための施設として捉えられている。以前は母子家庭の経済的な支援策として設置されていた施設だが、現在は主にDVから逃れ母子の安全を確保するための施設として捉えられている。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	(1)入所申込処理業務 ①母子保護の相談受付 ②母子生活支援施設入所申込書記入 ③入所申込書の受理 ④所要の調査、審査 ⑤入所決定伺い ⑥母子生活支援施設入所(承諾、不承諾、解除)通知書の交付⑦保護台帳の作成 ⑧母子生活支援施設の長へ承諾通知書コピーを送付(解除の場合、解除通知コピー送付) ⑨入所負担金の徴収 (2)届処理業務 ①氏名、住所変更届 ②退所届 ③死亡届 等の受付、処理 (3)施設への負担金支払業務 ①負担金請求の受付(請求書等の審査) ②負担金の支出負担行為の作成、決裁 ③支出命令書作成、決裁 (4)その他 入所者の状況調査(面接)
【主な予算費目】	負担金
【意見や要望】	・入所者の安全が確保され、できるだけ短期間で退所できるような支援と働きかけが必要。・施設内での対応に不満の声も聞かれている。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
1世帯退所及び1世帯入所。 相談事業の中で内容に応じて関係者が連携を図り対応する。	入所継続中の1世帯の就労支援を行い、自立を促す。
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)	イ 継続入所措置世帯数 (単位)
→ ア 新規保護実施世帯数 (単位)	イ 継続入所措置世帯数 (単位)
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
DV等相談のあった母子	→ ア DV等相談者 (単位)
	→ イ 入所措置世帯数 (単位)
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
DV等による不安が軽減し、母子が自立できる。	→ ア 継続入所世帯に対する新規入所世帯の割合 (%)
	→ イ 母子生活支援施設を退所できた世帯の割合 (%)
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠 入所状況を把握し、自立の度合いを計ることができる。	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度 実績(決算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	21年度 実績(決算)	22年度 目標(当初予算)	23年度 予定	24年度 見込		
④ 活動指標	ア 世帯		0	2	1	1	1	1	1		
	イ 世帯		2	1	1	1	1	1	1		
⑤ 対象指標	ア 人		20	9	15	16	15	18	20		
	イ 世帯		0	2	2	1	2	2	2		
⑥ 成果指標	ア %		0	50	20	100	20	20	20		
	イ %		100	50	50	50	50	50	50		
投資 入 量	事業 内 訳	国庫支出金	千円	2,625	1,221	1,440	823	1,200	1,200	1,200	
		都道府県支出金	千円	1,312	610	720	411	600	600	600	
		地方債	千円								
		その他	千円	8	37	9	41	19	19	19	
		繰入金	千円								
	一般財源	千円	1,262	130	742	389	613	613	613		
	(A) 事業費計	千円	5,207	1,998	2,911	1,664	2,432	2,432	2,432		
	(A)のうち指定経費	千円				2,400	2,400	2,400			
	(A)のうち時間外、特勤	千円									
人 件 費	正規職員従事人数	人	5	5	5	4	5	5	5		
	延べ業務時間	時間	300	430	300	170	300	300	300		
	(B)人件費計	千円	1,191	1,720	1,194	677	1,194	1,194	1,194		
トータルコスト(A)+(B)		千円	6,398	3,718	4,105	2,341	3,626	3,626	3,626		

総トータルコスト	
全体計画	
～ 年度	
(期間限定複数年度のみ記載)	
	0
	0
	0

合志市

事務事業名	母子生活支援施設入所措置事業	所属部	健康福祉部	所属課	子育て支援課
-------	----------------	-----	-------	-----	--------

## 2 評価の部 (SEE)

\*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷

## 3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

昨年度からの継続入所者1世帯は自立し退所。  
平成22年2月入所の1世帯は自立するための就職活動を行っているため、相談員を中心に相談を受け、適した情報提供等を行った。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

- 今後の事業の方向性  革改善案)・・・複  選択可  廃止  休止  目的再設定  事業統廃合・連携  事業のやり方改善(有効性改善)  
 事業のやり方改善(効率性改善)  事業のやり方改善(公平性改善)  
 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

入所者に対し、自立促進に努める。  
また、相談があれば的確なアドバイスを行い、相談者にとって最善の方法をとることができるよう支援する。

(2) 改革・改善による期待成果  
(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		○	
	低下			

## (3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

入所相談、保護決定の時点で入所措置期間や自立に向けての取り組みなど入所者への説明を十分に行なっておく必要がある。